

(2) 予察情報－3 月報

4 月月報(令和5年5月17日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成、半促成トマトの生育は概ね順調だった。

葉菜類：ハウレンソウ、コマツナの生育は概ね順調だった。

根菜類：ダイコン、コカブの生育は概ね順調だった。

イモ類：ジャガイモの生育は概ね順調だった。

(2) 果樹

ナシ：東京都農林総合研究センターの果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。開花始期および開花盛期は10日以上早くなった。

新高：開花始	3月25日（－11日）	開花盛	4月9日（－11日）
稲城：開花始	3月27日（－10日）	開花盛	3月31日（－10日）
幸水：開花始	3月31日（－12日）	開花盛	4月3日（－12日）
豊水：開花始	3月31日（－10日）	開花盛	4月3日（－10日）

(3) 茶樹

昨秋や春に整枝を行っている圃場の生育が早く、あまり整枝剪定を行っていない圃場の芽出しは遅かった。例年より整枝剪定の有無による生育差が大きくなった。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

ハマキムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

果樹共通

チャバネアオカメムシ	<発生時期：並 発生量：並>
------------	----------------

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	<やや少>	発生はやや少なかった。
---------	-------	-------------

(3) 野菜の病害虫

トマト（施設）

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

葉かび病	<やや少>	発生はやや少なかった。
------	-------	-------------

コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ（施設）		
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ（露地）		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ（施設）		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
トビムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
クローバーハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

（４）花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

（５）島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

5 月月報(令和 5 年 6 月 16 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類:エダマメ、キュウリ、トマトの生育は順調であった。早出しのハウストウモロコシの収穫が始まった。

葉茎菜:全般的に生育は順調であった。

根菜類:全般的に生育は順調であった。

(2) 果樹

カキ:農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるカキ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。開花始期及び開花盛期ともに、7～12 日早かった。

平 核 無:開花始 5月5日(－ 7日)、開花盛 5月 8日(－ 8日)

東 京 紅:開花始 5月8日(－ 9日)、開花盛 5月 10 日(－10 日)

次 郎:開花始 5月7日(－11 日)、開花盛 5月 11 日(－10 日)

松本早生:開花始 5月9日(－12 日)、開花盛 5月 13 日(－11 日)

(3) 茶樹

生育はやや早めだった。苗木の生育もよく、天候による大きな生理障害等もなかった。病虫害防除のため一番茶摘み取り後、大きく刈り込んだ。

2 病虫害の発生概況

(1) 果樹の病虫害

ナシ

赤星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 並 >	予察灯、フェロモントラップによる誘殺数は、平年並であった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	発生はやや多かった。

(2) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや多 >	発生はやや多かった。

(3) 野菜の病虫害

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

トマト(施設・半促成)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。

オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キュウリ		
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ（施設）		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< 並 >	発生は平年並であった。
モンシロチョウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

（４）花きの病害虫

花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

（５）島しょの病害虫

大島：トルコギキョウで立枯病の発生が多かった。
それ以外の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

6 月月報(令和 5 年 7 月 19 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

田植えは 6 月中旬頃にほぼ終了し、生育は順調であった。

(2) 野菜

果 菜 類：露地トマトの収穫が始まった。キュウリでは曲がり果等の発生が多かった。トウモロコシの生育は順調であった。

葉根菜類：全般的に生育は順調であった。

イ モ 類：ジャガイモの収穫期に入り、例年よりやや早かった。サトイモは生育が順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土・露地)におけるブドウ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通りであった。巨峰および安芸クイーンで開花始・盛期は平年より 4～5 日早かった。高尾で開花始・盛期は平年より 2～3 日早かった。

巨 峰：開花始 5 月 22 日 (－5 日)、開花盛 5 月 26 日 (－4 日)

安芸クイーン：開花始 5 月 22 日 (－5 日)、開花盛 5 月 26 日 (－4 日)

高 尾：開花始 5 月 22 日 (－3 日)、開花盛 5 月 26 日 (－2 日)

(4) 茶樹

例年より生育は順調で、農薬散布により病害虫も抑えられていた。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(苗)	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
イネミズゾウムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	フェロモントラップへの誘殺数はやや多かった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	予察灯及びフェロモントラップ
------------	-------	----------------

クサギカメムシ	< 少 >	への誘殺数は少なかった。 予察灯及びフェロモントラップ への誘殺数は少なかった。
(3) 茶樹の病害虫		
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数 は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	フェロモントラップへの誘殺数 はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯への誘殺数は少なかった。
(4) 野菜の病害虫		
ジャガイモ		
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
トマト		
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 並 >	発生は平年並であった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< 多 >	発生は多かった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	巡回調査での発生は少なく、フ ェロモントラップへの誘殺数は 平年並であった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< 並 >	巡回調査での発生及びフェロモ ントラップへの誘殺数は平年並 であった。
ネギ		
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。

ネギハモグリバエ	<やや少>	発生はやや少なかった。
キャベツ		
菌核病	<やや多>	発生はやや多かった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	<やや少>	巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。

(6) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

7 月 月 報 (令和 3 年 8 月 18 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

生育は概ね順調であった。

(2) 野菜類

果菜類:高温と強い日射の影響で、エダマメで葉の黄化が他の果菜類で日焼け果の発生が見られた。

葉根菜類:キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、ニンジン等の播種が始まった。

イモ類:サツマイモの生育は順調、一部サトイモのほ場で葉焼け障害が見られた。

(3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水:降水量が少なかったため、肥大が緩慢であった。

(4) 茶樹

雑草管理を行っていた。大きな生理障害、病虫害被害もなく生育はおおむね良好であった。

2 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病(平野部)	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病(山間部)	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< 並 >	発生は平年並であった
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< やや少 >	予察灯の誘殺数はやや少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
チャノホソガ	< やや多 >	発生はフェロモントラップにおける誘殺数はやや多かった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト		
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや多 >	発生はやや多かった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ナス		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。

(6) 島しょの病害虫

大 島：大島、新島、式根島、神津島でアオバハゴロモの発生が多かった。

八丈島：トマトでトマトサビダニの発生が多かった。キキョウランでカイガラムシ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	＜誘殺なし＞
ウリミバエ	＜誘殺なし＞
クインズランドミバエ	＜誘殺なし＞
ミカンコミバエ種群	＜誘殺なし＞
トマトキバガ	＜誘殺なし＞

8 月月報(令和 5 年 9 月 15 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

高温により内穎褐変病の発生その他、白化米やしいななどの障害も見られている。

(2) 野菜類

果菜類：ナスは高温が影響し「焼け果」や「つやなし果」の発生が多かった。また、ハダニの発生が多かった。

葉菜類：キャベツやブロッコリーでは、灌水しながら定植作業が行われたが、暑さの影響で活着不良も見られた。コマツナも高温乾燥が影響し生育が悪く、立枯れの発生がみられた。

根菜類：ニンジンも高温乾燥で発芽不良が見られた。

イモ類：サトイモは 8 月後半の降雨で生育が持ち直した。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：‘高尾’で収穫始めは 8 日早くなった。

‘高尾’収穫始 8 月 14 日（－8 日）

ナシ：収穫始めは、‘幸水、稲城、秀玉’で 5～7 日早くなった。

‘幸水’収穫始 8 月 7 日（－7 日）

‘稲城’収穫始 8 月 18 日（－6 日）

‘秀玉’収穫始 8 月 21 日（－5 日）

(4) 茶樹

高温・乾燥の影響が心配されたが、目立った障害などは発生しなかった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 多 >	発生は多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。

サトイモ

ワタアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラヤガ	< 少 >	発生は少なかった。

ハイマダラノメイガ
カメムシ類

<やや少>
<やや少>

発生はやや少なかった。
発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ
アザミウマ類

< 少 >
< 少 >

発生は少なかった。
発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでハダニ類、カイガラムシ類の発生がやや多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

9 月月報(令和 5 年 10 月 1 9 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

中旬から稲刈りが始まったが、高温の影響で登熟が早まっていた。乳白米や胴割れ米の発生が多かった。

(2) 野菜

果菜類：イチゴは花芽分化が遅れ、定植の遅れがみられた。ナス、ピーマンで日焼け果の発生が多かった。

葉菜類：高温乾燥の影響で葉茎菜類の定植が遅れた。一部、灌水をしての定植がみられた。

根菜類：天候の影響でニンジンの発芽率は低い、生育は順調であった。

イモ類：サツマイモの収穫が始まり、収量は平年並みであった。サトイモは肥大が悪かった。

(3) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

ブドウ：‘巨峰’の収穫終わりは4日早かった。

‘巨峰’収穫終 9月15日（－4日）

ナシ：収穫終わりは、‘幸水’で7日、‘稲城’で2日早く、‘豊水’は平年並であった。

‘幸水’収穫終 8月24日（－7日）

‘豊水’収穫終 9月15日（±0日）

‘稲城’収穫終 9月6日（－2日）

(4) 茶樹

9月後半のまとまった雨により、例年より新芽が伸びていたが、深刈りしたときに芽が無くなるのが心配された。病害虫については薬剤散布により抑えられていた。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	<やや少>	発生はやや少なかった。
紋枯病	<やや少>	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	<少>	発生は少なかった。
イネツトムシ	<少>	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	<やや少>	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	<やや多>	発生はやや多かった。
トビイロウンカ	<少>	発生は少なかった。
コブノメイガ	<少>	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	発生はやや多かった。

果樹共通

カメムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
-------	---------	------------

(3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
トマトハモグリバエ	< 多 >	発生は多かった。

ナス

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 並 >	発生は平年並であった。

キャベツ

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ダイコン

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ハイマダラノメイガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ホウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナカジロシタバ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネキリムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

三宅島：コルディリネでハスモンヨトウの発生が多かった。

八丈島：キキョウランでカイガラムシ類の発生はやや多かった。

小笠原：父島のかんきつ類でリュウキュウミカンサビダニの発生はやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

ウリミバエ	< 誘殺なし >
クインズランドミバエ	< 誘殺なし >
チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
トマトキバガ	< 誘殺なし >

10 月月報(令和 5 年 11 月 17 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

収穫適期は例年より 5 日程度早いものの、刈遅れにより早生品種は収量が低かったが、中生品種の収量は例年並みであった。胴割れ米が多かった。

(2) 野菜

果菜類：施設トマト、キュウリの生育はおおむね順調であった。露地ナス、ピーマンは例年に比べ収穫量が多かった。

葉根菜類：施設のコマツナ、ホウレンソウの生育は概ね順調であった。ブロッコリーは高温障害と思われる花蕾の不整形やリーフィーなどの発生が多かった。根菜類ではダイコンで空洞症の発生が多かった。ニンジンの生育は概ね順調であった。

いも類：サトイモは芽つぶれ症の発生が多かった。サツマイモの収穫は例年並みであった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

カキ：収穫始めは、平年と比べ‘早秋’で 4 日、‘太秋’で 7 日、‘伊豆’で 6 日、‘甘秋’で 3 日遅かった。収穫終わりは、平年と比べ‘早秋’で 3 日、‘太秋’で 5 日、‘甘秋’で 5 日遅く、‘伊豆’は平年並みであった。

‘早秋’	収穫始	10月 5 日（＋4 日）	収穫終	10月16日（＋3 日）
‘太秋’	収穫始	10月20日（＋7 日）	収穫終	11月 6 日（＋5 日）
‘伊豆’	収穫始	10月16日（＋6 日）	収穫終	10月23日（±0 日）
‘甘秋’	収穫始	10月16日（＋3 日）	収穫終	11月 2 日（＋5 日）

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイコン・ハクサイ		
軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ホウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 多 >	発生は多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。
イチゴ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

- 八丈島：キキョウランでカイガラムシ類、サツマイモでナカジロシタバの発生がやや多かった。
- 小笠原：父島のカンキツ類でハモグリガ類とサビダニ類が、レイシでミノガ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

11 月月報(令和 5 年 12 月 18 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：施設トマト、イチゴの生育は概ね順調であった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育は例年より 5 日～1 週間程出荷が早まった。

根菜類：ダイコン、ニンジン肥大が良いが、一部でス入りが見られた。

いも類：秋ジャガイモの生育は概ね順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・抑制）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ・ブロッコリー・カリフラワー

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
菌核病	< やや多 >	発生はやや多かった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウガ類	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< やや多 >	発生はやや多かった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでカイガラムシおよびハダニ類の発生がやや多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

ウリミバエ	< 誘殺なし >
クインズランドミバエ	< 誘殺なし >
チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
トマトキバガ	< 誘殺なし >

12 月月報(令和 6 年 1 月 18 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果 菜 類：施設の果菜類（トマト、キュウリ、イチゴ）は概ね順調であった。

葉根菜類：キャベツ、ハクサイ、コマツナ、ホウレンソウの生育は概ね順調であった。

ブロッコリーは生育期の高温の影響で例年に比べやや収穫期が遅れた。

根 菜 類：ニンジン、ゴボウは生育が順調であった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

ホウレンソウケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害

八丈島：野菜類でヨトウムシ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

トマトキバガ

<誘殺なし>

1 月月報(令和6年2月13日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマト、キュウリの生育は概ね順調であったが、イチゴはやや遅れていた。

葉菜類：ハウレンソウ、コマツナの生育は概ね順調であった。

根菜類：ダイコンは一部で寒害の発生が見られた。

2 病虫害の発生概況

(1) 野菜の病虫害

トマト（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病虫害

花き共通の病虫害

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病虫害

八丈島：キキョウランでハダニ類、カイガラムシの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病虫害は認められなかった。

3 侵入調査

トマトキバガ < 誘殺なし >

2 月月報(令和 6 年 3 月 18 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類:施設トマト・イチゴの生育は早く、順調だった。

葉菜類:露地で雪害の影響が一部あったが、ホウレンソウやコマツナの生育は例年に比べ早く順調だった。

根菜類:ニンジン、コカブの生育は概ね順調だった。

2 月どりのブロッコリー、カリフラワー、キャベツの一部で鳥害が発生した。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並だった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ (施設、露地トンネル)

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島: キキョウランでハダニ類の発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 侵入調査

トマトキバガ

<誘殺なし>

3 月月報(令和 6 年 4 月 14 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマト・イチゴの生育は概ね順調だった。

葉菜類：ハウレンソウやコマツナの生育は例年に比べ早かった。

根菜類：ニンジン、コカブの生育は概ね順調だった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並だった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並だった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：一部地域のアシタバでヨコバイ類の発生がやや多かった。

小笠原：母島のミニトマトでコナジラミ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。